

# 文京区アカデミー推進計画策定協議会

## 第4回 スポーツ振興分科会 次第

日時：平成22年8月9日（月）18:30～20:30

於：文京シビックセンター21階 2101会議室

- 1 開会
- 2 はじめに
- 3 体系づくりに向けた項目（案）の検討
- 4 事業（案）の検討
- 5 骨子（案）の検討
- 6 閉会

### 《配布資料》

【資料スポーツ第9号】体系づくりに向けた項目（案）

【資料スポーツ第10号】事業（案）とりまとめ資料

【資料スポーツ第11号】分野別計画骨子（案）

## 体系づくりに向けた項目（案）

(体系づくりの視点) ※体系には不掲載	分野別の目標	基本的な方向
スポーツをするきっかけを持つ	スポーツへの参加促進	スポーツに関する情報の発信 情報相談窓口の設置
スポーツをする	スポーツを楽しむ環境づくり	既存施設の活用 多様なニーズに対応するプログラムの提供 スポーツを通じた地域交流の活性化
スポーツを観る	スポーツ観戦の魅力向上	スポーツ観戦機会の拡充 プロスポーツ団体等との連携協力
スポーツを教える	スポーツ指導者の人材育成	スポーツ指導者等の人材育成と確保 スポーツ指導者の資質向上

<凡例>

●:分科会や意見シートで出た事業例、○:現行計画より継続する事業例、□:その他の事業例

分野別の目標	基本的な方向	事業例(区の実施事情、委員からの意見等)	事業のねらいや実施する内容等のキーワード
1	スポーツへの参加促進		
	(1)スポーツに関する情報の発信		
	○区報、ホームページ、CATV等によるスポーツ情報の発信	○区報、ホームページ、CATV等によるスポーツ情報の発信	・より早く、より正確に区民が求める多様な各種スポーツ関係情報を収集発信する。・区内で行われる主要スポーツイベント情報の収集発信 ・区民のライフスタイルに応じた情報の収集発信
	○スポーツ施設におけるスポーツ情報の発信	○スポーツ施設におけるスポーツ情報の発信	・区内全スポーツ施設が関わる各種スポーツイベント情報の収集・発信 ・公共スポーツ施設と民間スポーツ施設の連携協力(スポーツ施設ネットワーク等の構築) ・区内全スポーツ施設の情報収集と発信(利用案内等) ・区内大学との連携協力
	●情報発信手段の工夫	●情報発信手段の工夫	区内で実施されている様々なスポーツ活動に関わる情報を周知するため、町会・自治会をはじめとした様々な団体等の既存組織と連携協力を図り、より一層効果的な情報発信の方策を工夫する。
	●スポーツのきっかけづくり	●スポーツのきっかけづくり	スポーツに関する情報の収集発信を充実させ、現在、運動をしていない層の区民も、様々なスポーツに関する情報を手軽に入手し、スポーツに親しむきっかけづくりを支援する。
	●□スポーツ通信の発行(スポーツ専門Webサイトの立ち上げ)	●□スポーツ通信の発行(スポーツ専門Webサイトの立ち上げ)	・スポーツ振興に関わる様々な情報の収集と発信を行う。・各種団体の活動内容、連絡先等を紹介する。・スポーツ開放の参加状況や内容、参加者の声等を紹介する。・各種スポーツに関わる最新情報の収集提供
	(2)情報窓口の設置		
	○スポーツ施設における情報窓口の設置	○スポーツ施設における情報窓口の設置	・より早く、より正確に区民が求める多様な各種スポーツ関係情報を収集発信する。・区内で行われる主要スポーツイベント情報の収集発信 ・区民のライフスタイルに応じた情報の収集発信
	○健康スポーツ相談窓口の設置(健康センター)	○健康スポーツ相談窓口の設置(健康センター)	区民の誰もが、それぞれの体力や身体能力、年齢、技術、目的等に応じて、いつでも、どこでも、いつでも、安全にスポーツを親しむことを相談できる体制の充実を図る。
	●健康スポーツ相談	●健康スポーツ相談	区役所会議室等の区民施設を有効活用し、医師、理学療法士、スポーツスタッフによる健康管理、運動内容、運動量についての指導・助言を行う。
	●スポーツ・健康相談コーナー	●スポーツ・健康相談コーナー	保健サービスセンターで実施する節目健診などの健康診断にスポーツ相談コーナーを併設する。区内体育館施設に常設スポーツ相談コーナーを設置する。コーナーでは初心者教室やスポーツ団体の案内等も行う

<凡例>

●:分科会や意見シートで出た事業例、○:現行計画より継続する事業例、□:その他の事業例

分野別の目標	基本的な方向	事業例(区の実施事情、委員からの意見等)	事業のねらいや実施する内容等のキーワード
2	スポーツを楽しむ環境づくり		
	(1)既存施設の活用		
		○スポーツ施設の整備 ・(仮称)新総合体育館の新設 ・小石川運動場の全面改修 ・旧5中体育館のリニューアルオープン	・区民が手軽にスポーツに親しめるよう区内のスポーツ施設の有効活用と充実を図る。・(仮称)新総合体育館の開設 ・小石川運動場の全面改修 ・旧5中体育館のリニューアルオープン ・老朽化したスポーツ施設の改修を推進
		○区立小・中学校施設等の活用 ・スポーツ交流ひろば	・区民が手軽にスポーツに親しめるよう区内の学校施設の有効活用と充実を図る。・スポーツ開放事業の積極的な展開と推進を図る。
		○区内大学施設等の活用	区内大学との連携協力体制を推進し、区民が手軽にスポーツに親しめるよう大学施設の積極的な開放に協力をいただく。
		○高齢者・障害者が利用しやすいスポーツ施設づくり ・(仮称)新総合体育館の建設 ・スポーツ施設の改修	・スポーツ施設のバリアフリー化の推進 ・高齢者・障害者を対象としたスポーツプログラムの提供を検討 ・(仮称)新総合体育館の開設
		●スキー教室	少年自然の家八ヶ岳高原学園を利用し、障害者福祉課、文京アカデミーの主催で開催
		●既存施設の使いやすさの向上	高齢者や障害者や、働いている世帯などがそれぞれ利用しやすい時間帯に利用できるようにする。
		●区立公園の整備	子どもや高齢者がスポーツをできるような場所を区立公園内に確保する。
		●区内公園施設の改修	区内の公園に健康器具を設置する。使用方法等、使用時間等を工夫しながら、比較的大きな公園ではフットサル・野球・バスケット等の球技ができるように囲いを設ける。
		●公立小中学校以外の学校との連携	都立高校や私立高校、大学の施設の未利用時の借用
		●□コミュニティバス「Bーぐる」のルート充実と活用	・区内主要スポーツ施設へのアクセスルートの拡充を検討。 ・コミュニティバス「Bーぐる」と連携協力した既存施設の活用策の検討

<凡例>

●:分科会や意見シートで出た事業例、○:現行計画より継続する事業例、□:その他の事業例

分野別の目標	基本的な方向	事業例(区の実施事情、委員からの意見等)	事業のねらいや実施する内容等のキーワード
	(2)多様なニーズに対応するプログラムの提供		
		○子ども向けスポーツプログラムの提供 ・初心者教室 ・小中学生スポーツ教室 ・一輪車教室 ・この指とまれ(体指自主事業)	・初心者教室等(小中学生スポーツ教室等)の充実 ・体育協会加盟団体をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力したスポーツプログラムの実施 ・区内大学と連携協力したスポーツプログラムの実施を検討
		○親子・ファミリー向けスポーツプログラムの提供 ・初心者教室 ・この指とまれ(体指自主事業) ・ファミリーハイキング教室	・初心者教室等(親子・ファミリー向け教室等)の充実 ・体育協会加盟団体をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力したスポーツプログラムの実施 ・区内大学と連携協力したスポーツプログラムの実施を検討
		○子育て世代向けスポーツプログラムの提供 ・ファミリーハイキング教室 ・初心者教室 ・この指とまれ(体指自主事業) ・ファミリースポーツデー	・初心者教室等(子育て世代向け教室等)の充実 ・体育協会加盟団体をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力したスポーツプログラムの実施 ・区内大学と連携協力したスポーツプログラムの実施を検討
		○中高年・高齢者向けスポーツプログラムの提供 ・健康づくり教室 ・この指とまれ(体指自主事業) ・ニュースポーツ教室	・初心者教室等(中高年・高齢者向け教室等)の充実 ・体育協会加盟団体をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力したスポーツプログラムの実施 ・区内大学と連携協力したスポーツプログラムの実施を検討
		○障害者向けスポーツプログラムの提供 ・障害者運動会(障害者福祉課)	・障害者向けプログラムの充実及び推進を検討 ・体育協会加盟団体及び障害者団体等をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力したスポーツプログラムの実施を検討 ・区内大学と連携協力したスポーツプログラムの実施を検討
		○スポーツを通じた健康・体力づくりプログラムの提供 ・ファミリースポーツデー ・健康づくり教室 ・この指とまれ(体指自主事業)	・健康センターとの連携協力を図り、スポーツを通じた健康・体力づくりプログラムを提供する。 ・体育協会加盟団体をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力したプログラムの実施 ・区内大学と連携協力したプログラムの実施を検討
		○競技力向上プログラムの提供 ・各種区民体育大会	・区民体育大会の推進と充実 ・都民体育大会等、各種スポーツ大会への選手派遣 ・子どもの発達段階に応じた競技力向上スポーツプログラムの実施を図る。 ・小中学校体育連盟及び高等学校体育連盟との連携協力体制の充実 ・体育協会加盟団体をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力したスポーツプログラムの実施 ・区内大学と連携協力したスポーツプログラムの実施を検討
		●高齢者が各種スポーツへ参加する機会の提供	
		●初心者教室	種目別初心者教室に加え、開催時間帯を様々な年齢に合わせた年齢別初心者教室を実施する。初心者教室が終了した後はスポーツを継続できる団体を紹介する。開催時間に合わせた指導員を確保するため、大学等との連携を強める
		●ウォーキンマップの作成	区内名所旧跡のウォーキングルートや休憩場所の地図を作成する。
		●障害者レクリエーションスポーツ教室	年8回開催 区体育館 文京区アカデミー主催
		●高齢者の健康・体力づくり	健康体操教室の継続実施、高齢者いきいき体力測定会、歩け歩け大会の活用、水中ウォーキング教室の継続実施等
		●フットベースボール大会	小石川運動場を利用し、知的障害者、特別支援学級の生徒を対象に行う。教育委員会による主催を想
		●各種スポーツ大会の実施	高齢者の競技力向上を目指す
		●小学校体育活動コーディネーターの設置	小学校全体の体育事業、体育的活動プログラム及び計画等の作成。

<凡例>

●:分科会や意見シートで出た事業例、○:現行計画より継続する事業例、□:その他の事業例

分野別の目標	基本的な方向	事業のねらいや実施する内容等のキーワード
	(3)スポーツを通じた地域交流の活性化	
	○地域スポーツ団体の育成・支援 ・体育指導委員委嘱 ・スポーツリーダー委嘱 ・体育指導委員活動支援 ・地域派遣事業	・総合型地域スポーツクラブ育成及び支援。 ・スポーツ開放事業の積極的な展開と推進。 ・各種スポーツ関係自主グループの育成及び支援。 ・体育指導委員及びスポーツリーダーの地域派遣の推進 ・体育協会加盟団体をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力した地域スポーツ団体等の育成支援 ・区内大学と連携協力した地域スポーツ団体等の育成支援
	○地域交流活性化スポーツ事業 ・総合型地域スポーツクラブ育成及び支援 ・スポーツ交流ひろば	・総合型地域スポーツクラブ育成及び支援。 ・スポーツ開放事業の積極的な展開と推進。 ・各種スポーツ関係自主グループの育成及び支援。 ・体育指導委員及びスポーツリーダーの地域派遣の推進 ・体育協会加盟団体をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力した地域スポーツ団体等の育成支援 ・区内大学と連携協力した地域スポーツ団体等の育成支援
	○地域交流活性化スポーツ事業のコーディネート及び支援 ・体育指導委員委嘱 ・スポーツリーダー委嘱 ・体育指導委員活動支援 ・地域派遣事業	・総合型地域スポーツクラブ育成及び支援。 ・スポーツ開放事業の積極的な展開と推進。 ・各種スポーツ関係自主グループの育成及び支援。 ・体育指導委員及びスポーツリーダーの地域派遣の推進 ・体育協会加盟団体をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力した地域スポーツ団体等の育成支援 ・区内大学と連携協力した地域スポーツ団体等の育成支援
	○東京国体の開催	・平成25年東京国体の開催 文京区実行委員会の設立 レスリング会場(文京スポーツセンター) サッカー会場(小石川運動場) デモンストレーション競技(ウォークラリー) リハーサル大会の実施(レスリング全国大学選手権大会・全国サッカー社会人選手権大会)
	●水泳教室	東京都障害者総合スポーツセンターのプールを使用した水泳教室の開催
	●教育の森を利用し、納涼会、みんなの集いなどの交流事業を行う。	教育の森を利用し、納涼会、みんなの集いなどの交流事業を行う。
	●B-グールでラリー	B-グールとタイアップしたウォーク&マラソンラリーを実施する。区の施設や文化資源を知る、商店街の活性化につなげる
	●親子ダンス	小学生とその保護者がダンスを覚え、交流館等で発表する機会を提供する。
	●区内の各種スポーツ団体との定期的な交流	区内のスポーツに関する団体、サークル活動をしているクラブ等の交流を進める。団体同士の共同活動、情報交換等の活性化を目指す。
	□スポーツ活動を通じた仲間づくり ・総合型地域スポーツクラブ育成及び支援 ・スポーツ交流ひろば ・区民大会等、各種スポーツ大会の実施 ・その他	・スポーツ開放事業の積極的な展開と推進。 ・各種スポーツ団体等による交流大会の実施 ・区民体育大会の充実推進 ・都民体育大会等、各種スポーツ大会への選手派遣 ・各種スポーツ関係自主グループの育成及び支援。 ・体育指導委員及びスポーツリーダーの地域派遣の推進 ・体育協会加盟団体をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力した地域スポーツ団体等の育成支援 ・区内大学と連携協力した地域スポーツ団体等の育成支援

<凡例>

●:分科会や意見シートで出た事業例、○:現行計画より継続する事業例、□:その他の事業例

分野別の目標	基本的な方向	事業例(区の実施事情、委員からの意見等)	事業のねらいや実施する内容等のキーワード
3 スポーツ観戦の魅力向上			
(1)スポーツ観戦機会の拡充			
	○スポーツ団体等との協働によるスポーツ観戦機会提供	○スポーツ団体等との協働によるスポーツ観戦機会提供	・読売ジャイアンツ及び日本サッカー協会、講道館等との連携協力体制の充実を図る。 ・体育協会加盟団体をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力し各種スポーツの観戦機会を提供する。
	○オリンピック・パラリンピック応援事業	○オリンピック・パラリンピック応援事業	・日本サッカー協会、講道館等との連携協力による応援事業の検討。 ・体育協会加盟団体をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力した応援事業の検討
	○国体等のスポーツ応援事業	○国体等のスポーツ応援事業	・体育協会加盟団体をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力した応援事業の検討 ・各種関係団体と連携協力した平成25年東京国体応援事業の実施。
	○区内大学スポーツ等の地元応援事業	○区内大学スポーツ等の地元応援事業	・区内大学と地域との連携協力体制を推進し、各種学生スポーツ等を地域全体で応援することを検討。 ・各種学生スポーツの情報提供の充実を図る。
	●パラリンピック・カーリングの紹介	●パラリンピック・カーリングの紹介	区内の小中高生を対象とし、障害者スポーツへの理解を深めるため、区立体育館でクリスタルジャパンの実技を紹介する。
	●□大学との連携	●□大学との連携	・大学野球など各種スポーツ交流戦の観戦ができるようにする ・区内大学との連携協力体制を充実し、各種学生スポーツの情報を区民に積極的に提供することを検討。
(2)プロスポーツ団体等との連携協力			
	○プロスポーツ団体等との協働によるスポーツ振興事業	○プロスポーツ団体等との協働によるスポーツ振興事業	・各種スポーツ初心者教室等の充実 ・体育協会加盟団体をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力したスポーツプログラムの実施 ・区内大学と連携協力したスポーツプログラムの実施を検討 ・プロ選手及び指導者によるレベルの高いスポーツ指導 ・読売ジャイアンツ及び日本サッカー協会、講道館等との連携協力体制の充実を図る。
	○プロスポーツ団体等との協働によるスポーツ観戦機会提供	○プロスポーツ団体等との協働によるスポーツ観戦機会提供	・世界レベルの各種スポーツ観戦機会を提供により、より身近にスポーツに親しみを持っていただくとともに、各種スポーツの競技力の向上を図る。
	●東京ドームとの連携	●東京ドームとの連携	区民に対するチケットの販売、年間契約シートを確保し、抽選で当たった区民が試合観戦できるようにする

<凡例>

●:分科会や意見シートで出た事業例、○:現行計画より継続する事業例、□:その他の事業例

分野別の目標	基本的な方向	事業例(区の実施事情、委員からの意見等)	事業のねらいや実施する内容等のキーワード
4 スポーツ指導者の人材育成			
(1)スポーツ指導者等の人材育成と確保			
	○体育指導委員・スポーツリーダーの活用 ・体育指導委員委嘱 ・体育指導委員活動支援 ・地域派遣事業	○体育指導委員・スポーツリーダーの活用 ・体育指導委員委嘱 ・体育指導委員活動支援 ・地域派遣事業	・総合型地域スポーツクラブ育成及び支援。 ・スポーツ開放事業の積極的な展開と推進。 ・各種スポーツ関係自主グループの育成及び支援。 ・体育指導委員及びスポーツリーダーの地域派遣の推進
	○高齢者・障害者等の多様なニーズに対応するスポーツ指導者の育成 ・スポーツ指導者講習会の充実	○高齢者・障害者等の多様なニーズに対応するスポーツ指導者の育成 ・スポーツ指導者講習会の充実	・体育協会加盟団体をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力した指導者育成プログラムの実施 ・区内大学と連携協力した指導者育成プログラムの実施を検討 ・プロ選手及び指導者によるレベルの高いスポーツ指導 ・読売ジャイアンツ及び日本サッカー協会、講道館等との連携協力体制の充実を図る。
	●障害者スポーツ指導者講習会	●障害者スポーツ指導者講習会	
	●色々なスポーツができる機会の提供	●色々なスポーツができる機会の提供	専門種目だけしかスポーツをしない児童が増加しているため、専門種目に特化せず様々なスポーツを経験する機会を提供する
	●少年野球、少年サッカー、ミニバスケチームとの連携・協力	●少年野球、少年サッカー、ミニバスケチームとの連携・協力	各種少年チームと中学校部活指導者との連携により公立中学校部活動の充実と活性化を図る
(2)スポーツ指導者の資質向上			
	○体育指導委員会活動への支援	○体育指導委員会活動への支援	・総合型地域スポーツクラブ育成及び支援。 ・スポーツ開放事業の積極的な展開と推進。 ・各種スポーツ関係自主グループの育成及び支援。 ・体育指導委員及びスポーツリーダーの地域派遣の推進
	○スポーツ指導者研修会	○スポーツ指導者研修会	・体育協会加盟団体をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力した指導者育成プログラムの実施 ・区内大学と連携協力した指導者育成プログラムの実施を検討 ・プロ選手及び指導者によるレベルの高いスポーツ指導 ・読売ジャイアンツ及び日本サッカー協会、講道館等との連携協力体制の充実を図る。 ・子どもの発達段階に応じた競技力向上スポーツ指導プログラムの実施を図る。
	○障害者スポーツ指導者講習会	○障害者スポーツ指導者講習会	・体育協会加盟団体をはじめ、各種スポーツ関係団体等と連携協力した指導者育成プログラムの実施 ・区内大学と連携協力した指導者育成プログラムの実施を検討 ・プロ選手及び指導者によるレベルの高いスポーツ指導 ・読売ジャイアンツ及び日本サッカー協会、講道館等との連携協力体制の充実を図る。 ・障害者関係団体との連携協力体制の充実
	●スポーツリーダー組織の再編成	●スポーツリーダー組織の再編成	スポーツリーダー組織をバランスの取れた年齢厚生に再編成する。専門種目の主力指導員として育成する。スポーツリーダーが活躍する場の拡充を図る
	●生涯学習司の組織化(スポーツを含めた企画・運営を実施する。幅広いニーズの調査を実施する。)	●生涯学習司の組織化(スポーツを含めた企画・運営を実施する。幅広いニーズの調査を実施する。)	
	●スポーツ交流広場運営委員会の体制強化	●スポーツ交流広場運営委員会の体制強化	管理指導員の人材を確保する。地域に開かれた学校のさらなる推進を図る。運営委員会の行政側の管理体制を強化する。

## 分野別計画骨子（案）

### I スポーツ振興

#### 1 スポーツへの参加促進

##### 【現状と課題】

本区では、区民の健康・体力づくりを支援するため、一般の区民や高齢者や障害者（児）をそれぞれ対象として、健康診査や、健康づくりのための講習会を実施しています。また、青少年から高齢者までの幅広い年齢層の健康・体力づくりを推進するため、各種スポーツやレクリエーションに参加する機会を提供しています。

調査結果をみると、スポーツを日頃「している」と回答した区民は48.9%、一方、「していない」は50.4%となっています。スポーツをしている人の頻度は、「週に2～3日程度」33.1%が最も高く、「週に1日程度」31.7%、「ほぼ毎日」18.6%となっており、合わせて『週に1日以上』が80.0%以上を占めています。

性／年齢別にみると、スポーツを日頃「している」は男性30～40歳代、女性30歳代と60歳代、「していない」は男性50歳代、女性20歳代と40歳代で高くなっています。

このように、本区では健康づくりを目的とした講習会や、様々な年齢の区民を対象としたスポーツ活動の機会等を提供していますが、日頃スポーツをしていない人がスポーツを始めるためには、スポーツ活動に関する情報を様々な手段を通じて、広く周知することが求められます。

##### ◆ 課題

- ① 現在実施されている様々なスポーツ活動について、情報発信を強化することが求められます。
- ② 区内にある様々なスポーツ活動や利用できる施設等の情報を、分かりやすく一元化することが必要です。

##### 【基本的な方向】

##### (1) スポーツに関する情報の発信

- ・ 現在行われているスポーツ活動等に関するPRの充実が求められます。
- ・ 情報発信の手段のさらなる工夫、広報手法の見直し、年代によつての使い分けが求められます。

## (2) 情報相談窓口の設置

- ・ スポーツ活動の情報や施設等について一元的な管理を行う窓口が求められます。

期待される効果 期待される効果を2つ程度挙げる(ただし、第4回分科会以降)。

- ・ ●●●●

## 2 スポーツを楽しむ環境づくり

### 【現状と課題】

#### ◆ 現状

本区では、スポーツの機会を拡大するため、スポーツ施設を整備・充実させるとともに、区内の学校や民間等の施設等の活用を図ってまいります。また、従来のスポーツ開放は直営方式から運営委員会方式への移行を積極的に推進し、行政主導型から脱却し、区民との協働によるスポーツ開放事業を展開します。さらに、青少年から高齢者までの幅広い年齢層の健康・体力づくりを推進するため、各種スポーツやレクリエーションに参加する機会を幅広く提供するとともに、地域・生涯スポーツの普及・発展のため、自主的なスポーツ活動を行うスポーツ団体の育成を図っています。

一方、調査結果では、現在行っている（今後行ってみたい）スポーツを、今後より豊かに行うための場所については、「区立の体育館（スポーツセンターなど）」が44.3%と最も高く、次いで、「民間のスポーツ施設」が39.1%、「近くの公園」が24.0%などとなっています。

スポーツに取り組むための条件については、「スポーツ施設の利用料金が安くなる」「スポーツ施設の増加」「仕事・家事・育児の時間の短縮」の順に割合が高く、行いやすい時間帯は、「土日祝日日中（9時～18時）」「平日日中（9時～18時）」が上位となっています。

また、スポーツをしている主な理由は、「健康維持・体力向上のため」「運動不足解消のため」「ストレス解消や気晴らしのため」の割合が高く、スポーツをしていない主な理由については、「仕事・家事・育児で忙しいから」「きっかけがないから」が高くなっています。

このように、スポーツをするためには、区立の体育館など公共の施設を利用したいと考える区民が多く、さらに利用料金を下げ、使える時間を工夫して欲しいという結果から、既存の施設の使いやすさを高めていくことが求められます。

また、生活形態や家族構成、体力や障害の有無の状況などでスポーツができる条件が異なり、多くの区民がライフスタイルに応じたスポーツを楽しむようにするためには、多様なニーズにきめ細かく対応し、様々な機会を提供していくことが求められます。

#### ◆ 課題

- ① 既存のスポーツ施設の使いやすさを高めるとともに、「スポーツ交流ひろば」など身近な場所での活動を活性化し、スポーツができる場所として活用することが求められます。
- ② 子ども、日中勤務している人、妊産婦、高齢者、障害者など、ライフステージや、ライフスタイル、体力等の違いにより、スポーツを楽しむためには様々な支援や配慮が求められます。そのため、全ての区民がスポーツを楽しむ環境をつくるためには、対象者のニーズに応えた、多様なプログラムを提供

していくことが望まれます。

- ③ 区民の健康づくりに役立つようなスポーツ活動の支援が必要です。
- ④ スポーツを楽しむことに加え、必要とする人には、競技力の向上を支える仕組みが必要です。
- ⑤ 既存のスポーツ団体の活動を活性化するために、関係団体との連携強化が必要です。

## 【基本的な方向】

### (1) 既存施設の活用

- ・ 身近なスポーツ施設として、学校のスポーツ開放や私立学校、大学等との連携を通じて施設を多く提供することが求められます。
- ・ 公園等で気軽にスポーツができる環境づくりが求められます。
- ・ (仮称) 新総合体育館の建設 ・ 小石川運動場改修工事 (全面人口芝化)
- ・ 旧第5中学校のリニューアルオープン ・ 老朽化したスポーツ施設の改修工事

### (2) 多様なニーズに対応するプログラムの提供

- ・ 仕事で忙しい人や子育て中の人など、区民の様々な生活様式や年齢に合わせて、スポーツをする機会を柔軟に提供していくことが求められます。
- ・ スポーツ活動を気軽に始めるためには、住んでいる所の近くに活動できる場所をつくることが求められています。
- ・ ジュニアスポーツ選手の育成には、子どもたちの発達段階に応じた指導力を有する人材の発掘と活用を図る等、より一層効果的な対応が求められます。
- ・ 学校体育と各種スポーツ団体等との連携・協力体制を構築し、子どもの発達段階に対応した生涯スポーツの普及・振興とジュニアスポーツの競技力の向上を図ることが必要である。

### (3) スポーツを通じた地域交流の活性化

- ・ スポーツ活動を通じて、地域住民の連携や交流を活性化していくことが求められます。
- ・ 地域スポーツ団体の育成支援 ・ 地域交流活性化スポーツ事業の展開
- ・ 東京国体の開催
  - レスリング (文京スポーツセンター) サッカー (小石川運動場)
  - デモンストレーション競技 (ウォークラリー)

**期待される効果** 期待される効果を2つ程度挙げる (ただし、第4回分科会以降)。

- ・ ●●●●

### 3 スポーツ観戦の魅力向上

#### 【現状と課題】

##### ◆ 現状

現在、本区は、日本のプロ野球界における長年の歴史と伝統を持つ読売巨人軍と区内に本拠地を構える日本サッカー協会（JFA）とは、スポーツの普及振興等に係る相互協定を締結しており、また、区内には、柔道の総本山でもある「講道館」が本拠地を構える等、大変恵まれた状況にあります。

今後は、これら区内の貴重な資源であるプロスポーツ団体等との連携、協力体制を構築し、区民が、より一層レベルの高いスポーツを身近に観戦できる機会を増やすことが求められます。

行政から区内のプロスポーツ団体等に働きかけ、子どもたちがスポーツの試合のみならず、技術レベルの高い練習等を観る機会を増やして欲しいという意見がありました。

また、まち歩き等をしながらか、地域のスポーツ団体や学生スポーツの試合や練習が見学できるなど、身近なスポーツを観て楽しめる仕組みや機会の提供が求められます。

##### ◆ 課題

- ① 区内には、読売巨人軍本拠地である東京ドーム、日本サッカー協会（JFA）、講道館の世界的メジャースポーツの拠点がある。今後は、これら区内の貴重な資源であるプロスポーツ団体等との連携、協力体制を構築し、区民が、より一層レベルの高いスポーツを身近に観戦できる機会を増やし、区民が各種スポーツに関心を持つ機会を増やすことが必要です。
- ② スポーツ団体をはじめ、様々な団体及び関係機関との連携協力体制を充実させ、より一層、区民がスポーツを観ることを楽しみ、スポーツに対する関心を高めるような企画を実施することが必要です。

#### 【基本的な方向】

##### （1）スポーツ観戦機会の拡充

- ・ 様々な機会をとらえて、スポーツを観ることを楽しむ企画を提供していくことが望まれます。

##### （2）プロスポーツ団体等との連携協力

- ・ 読売巨人軍や東京ドーム、日本サッカー協会（JFA）、講道館等との連携で、区民がより一層レベルの高いスポーツを身近に観戦できる機会を増やし、区民が各種スポーツに関心を持つ機会を増やすことが必要です。

- ・ ケーブルテレビとの連携・協力体制を構築し、各種メディアとの協働でスポーツ観戦の機会を増やすことも考えられます。

**期待される効果** 期待される効果を2つ程度挙げる(ただし、第4回分科会以降)。

- ・ ●●●●

## 4 スポーツ指導者の人材育成

### 【現状と課題】

#### ◆ 現状

本区では、地域の生涯スポーツを普及・振興するため、区内の各種スポーツ指導者を育成する研修会の実施をしています。また、各指導者には、各種団体の会合やスポーツ交流ひろば通信等を活用し、スポーツに関する様々な情報を提供しています。

さらに、地域・生涯スポーツ・レクリエーションの普及振興及び区民の自主的スポーツ活動を支援するため、体育指導委員及びスポーツリーダーを指導者として派遣する「地域派遣事業」を実施しています。

しかしながら、現在、勤務時間外の夜間でないと活動できない勤労者の指導者や子育て世代など昼間に活動している人を指導できる指導者や、高齢者を対象とした指導者が十分に確保できないことが問題となっています。

地域には、様々なスポーツを経験した指導者等の人材が埋もれていると思われるます。指導者の数を増やすためにも、それら人材の有効活用が求められます

また、地域でのスポーツ活動に新規参加者を呼び込んだり、活動を活性化するためには指導者の質が重要です。指導者の質を高めるため、行政が中心となった新たな指導者育成の方策等を構築する取組みが求められます。

#### ◆ 課題

- ① 地域に埋もれたスポーツ経験者等の新たな指導者の発掘と活用や若手指導者の育成を通じて、指導者の数を確保していくことが必要です。
- ② スポーツに取り組む人を増やすために、関係スポーツ団体等と行政の連携・協力体制を構築し、より一層、指導者の質の確保と向上に取り組むことが必要です。

### 【基本的な方向】

#### (1) スポーツ指導者等の人材育成と確保

- ・ 区内大学生を指導者としての受入れや様々な工夫を通じて、地域に埋もれたスポーツ経験者等の新たな指導者の発掘する等、より多くの質の高い指導者の確保が求められています。
- ・ 区内のスポーツ活動について、若手指導員が参入する気になる魅力を高める必要があります。
- ・ 大学との連携を通じて、障害者スポーツの指導者や介助者の育成はできないのか。

## (2) スポーツ指導者の資質向上

- ・ プロスポーツ団体等との連携・協力体制を構築し、より一層レベルの高い指導者育成のためのプログラムを構築することが求められます。
- ・ 関係スポーツ団体等との緊密な連携・協力体制を構築し、より一層レベルの高い指導者等を数多く確保、充実することが求められます。
- ・ スポーツ交流ひろばなど、利用者が固定化されがちな状況の中で、新規利用者の拡大のためには、指導者の資質向上が求められます。

期待される効果

期待される効果を2つ程度挙げる(ただし、第4回分科会以降)。

- ・ ●●●●